



クライアント仮想化製品
Ericom紹介資料

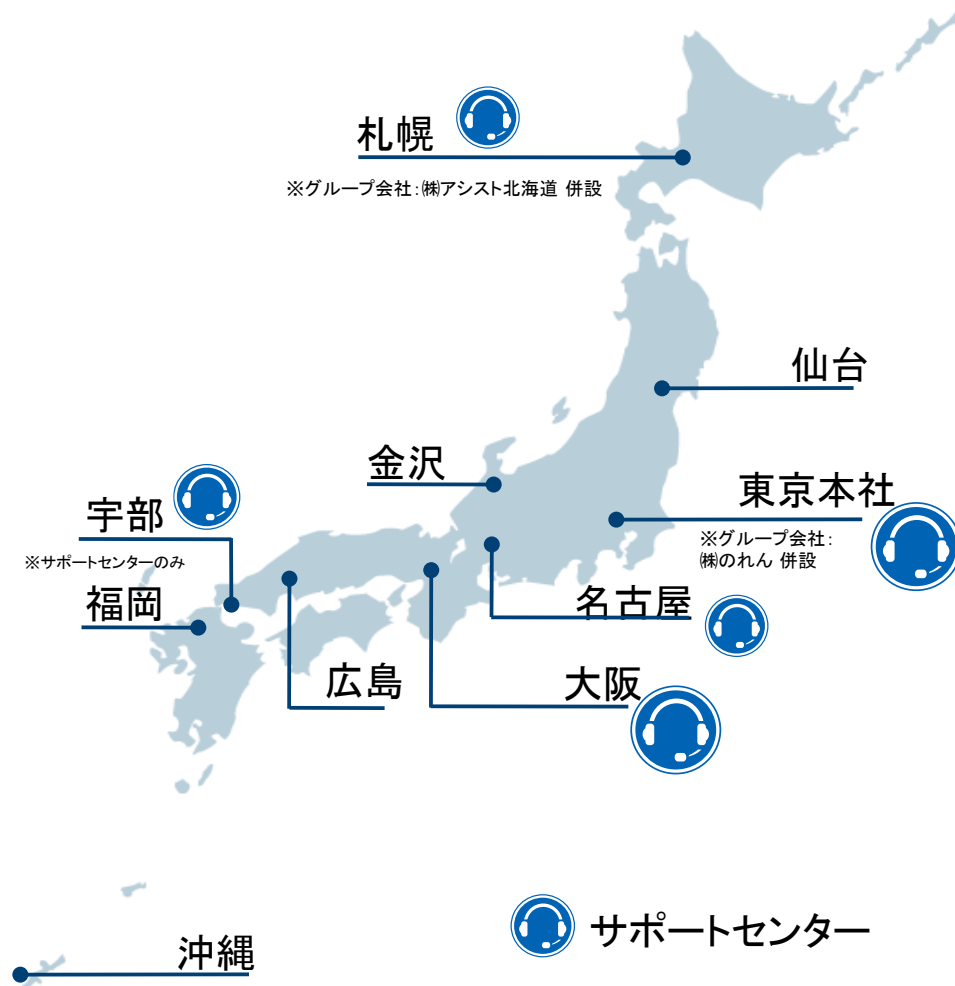
アシスト会社概要

設立	1972年3月
代表取締役会長	ビル・トッテン
代表取締役社長	大塚辰男
資本金	6,000万円
売上高	264億円（2017年度）
従業者数	1,120名（2018年4月現在） ※グループ会社含む
事業内容	コンピュータ用パッケージ・ソフトウェアの販売、技術サポート、教育およびコンサルティング
本社所在地	東京都千代田区九段北4-2-1 市ヶ谷東急ビル
オフィス所在地	札幌、仙台、名古屋、金沢、大阪、広島、宇部、福岡、沖縄
取引会社数	6,100社（2017年度）
主要取扱製品数	60製品（2018年4月現在）
グループ会社	株式会社アシスト本舗 株式会社アシスト北海道 株式会社のれん



アシストグループ（株式会社アシスト サービス事業部（本社・西日本支社）および株式会社アシスト北海道）のコンピュータ・ソフトウェア・パッケージの販売、テクニカルサポート、研修およびコンサルティング・サービスに対してISO27001の認証を取得しています。

オフィス所在地



はじめに

Ericomは、これまで『クライアント仮想化は導入コストが高い、管理が複雑』と、クライアント仮想化の導入を敬遠してきた方にぴったりのコストパフォーマンスの高いソリューションです。

本資料をご覧いただければ、**Ericomの「低コストや管理のシンプルさ」といった特長についてご理解いただけます。**

また、本資料ではEricom全製品ラインナップを詳細までご紹介しています。

- ・世界初の技術により、管理サーバ1台で10万同時アクセスを実現する「Ericom Connect」
- ・HTML5ブラウザ経由で、瞬時に自分の業務アプリケーションへアクセスする「AccessNow」
- ・劣悪なネットワーク環境でのパフォーマンスを向上するRDPアクセラレーター「Blaze」

同時に多数の導入実績もご紹介していますので、その安心感などもご確認いただけます。

アジェンダ

1. Ericom Software社のご紹介

アシストの仮想化分野への取り組みEricom社の歴史、アシストの仮想化分野への取り組み、Ericom製品ラインナップについて

2. Ericom Connectの概要

コネクションプローカー製品「Ericom Connect」の概要と全体イメージについて

3. Ericom Connectの機能

10万ユーザ規模をシンプルな構成で実現するEricom Connectの機能詳細（拡張性、操作性、管理性、監視、ログ、印刷、マルチテナントなど）について

4. Ericom Connectの構成

推奨サーバ構成、サイジング情報、通信ポートについて

5. 3つの接続方式

3パターンから選べるユーザの接続方法（AccessNow、Blaze、AccessToGo）について

6. 必要なMicrosoftライセンス

EricomConnectに必要なとなるMicrosoftのライセンスについて

7. Ericomの事例／体験デモサイト／関連資料

大手製造、製薬、教育機関での採用事例や体験デモサイトのご案内

1. Ericom Software社のご紹介

企業を取り巻くクライアント環境の変化

- **就労環境の変化に伴うリモートアクセス・ニーズの高まり**
 - 営業圏の拡大（海外からの接続含む）
 - 在宅勤務（産休・育休制度、介護、通勤困難等を含む）の検討
 - BCP対策
 - PCの外部持出しに伴う、情報漏えい対策・セキュリティ対策の強化
- **それぞれの業務シーンに最適な新しいクライアントデバイスの登場**
 - 端末台数の増加に伴うクライアント管理負荷の増加
 - WindowsPC以外からのアクセスの可能性
 - BYOD（Bring Your Own Device）の検討

共通キーワードは
「デバイス・フリー」「ロケーション・フリー」
これを下支えする技術が
「クライアント仮想化」

アシストのクライアント仮想化分野への取り組み

- **2001年に同分野のパイオニアであるCitrix社製品の取扱いを開始**
現在、CSA(Citrix Solution Advisor)の最上位メンバーシップであるPlatinumパートナーとして、高品質の独自サポートを提供。
Citrix製品のサポート顧客満足度は、5年連続96%以上を誇り、2017年5月現在、Citrix製品の顧客数は630社以上。
- **2011年9月、Ericom Software社製品の取扱いを開始**
2012年2月、英語版の販売開始
2012年6月、日本語版の販売開始
2012年7月、パートナー・プログラムを開設
2015年8月、新製品Ericom Connectを国内リリース開始
2018年3月現在、国内導入社数は400社以上
総代理店という立場で、ますますの認知度アップ活動を強化

Ericom Software社とは

- Ericom Software社（以下Ericom社）はMicrosoft RDS/TS、VDI、クラウド基盤等の上で稼働するアプリケーション、デスクトップへのリモートアクセスを、セキュアかつ柔軟性をもって提供するグローバル・カンパニーである。
- 創業はメインフレームのエミュレータ・ソフトから。ユーザ視点で商品開発を追求した結果、イスラエル本国においてエミュレータ分野でトップシェアを獲得。
- その後、新たな事業分野として参入したクライアント仮想化市場では、後発組の利点を活かし、同市場の先行企業とは異なるユニークな立ち位置を確立。特に、多様性や柔軟性が求められるクライアント仮想化分野において、Ericom社のオープン志向による設計思想や既存IT資産の長寿命化をサポートする製品群は大きな差別化要素といえる。

創業	1993年
拠点	イスラエル（本社）、米国、英国、インド、中国
営業展開	45カ国以上
実績	導入ユーザ数（Ericom社全製品）：組織数3万以上、インストール数700万
	国内320社（2017年5月現在）

Ericom社の歴史

Ericom創業



Eran Heyman氏がイスラエル空軍でエンジニアを経験した後、

Ericom Software Ltd.を創業。メインフレームの端末エミュレーターPowerTermを販売開始。

Ericom Blazeリリース

ソフトウェアベースのRDPアクセラレーターEricom Blazeを販売開始。遅いRDPを手軽に高速化できるシンプルなソリューションとして狭帯域、高遅延のネットワーク環境での利用が進む。PTWCでも利用可能となる。

Ericom Connectリリース

2015年3月に米国でEricom Connectをリリース。日本ではEricom Connect 7.1を8月3日にリリース。既に米国では10社弱のユーザを獲得しており、Connectのリリースによって、IDCからはEricomはクライアント仮想化市場におけるメジャープレイヤーとしてランクされている。

93

05

09

11

15

PowerTerm WebConnect (PTWC) リリース

クライアント仮想化市場に参入。Windowsターミナルサービス環境をサポートする、PowerTerm WebConnectをリリース。シンプルなシステム構成と手頃な価格、使い勝手の良さで小規模利用向けのクライアント仮想化ソリューションとして、主に、UKとアメリカで約3,000社のユーザを獲得する。

Ericom AccessNowリリース

世界で最も早く、HTML5を使ったRDPLレシーバーEricom AccessNowをリリース。インストール・設定不要であらゆるデバイスからWindowsデスクトップとアプリケーションが利用可能になり、Ericomはイノベティブな企業として認知されるようになる。Richrand School第2地区で3万ユーザ、ペンシルバニア州立大学で10万ユーザなど、次々に大型ユーザを獲得する。

Ericom社クライアント仮想化製品

- コネクションブローカー製品

- Ericom Connect
- Ericom PowerTerm WebConnect



- プロトコル製品

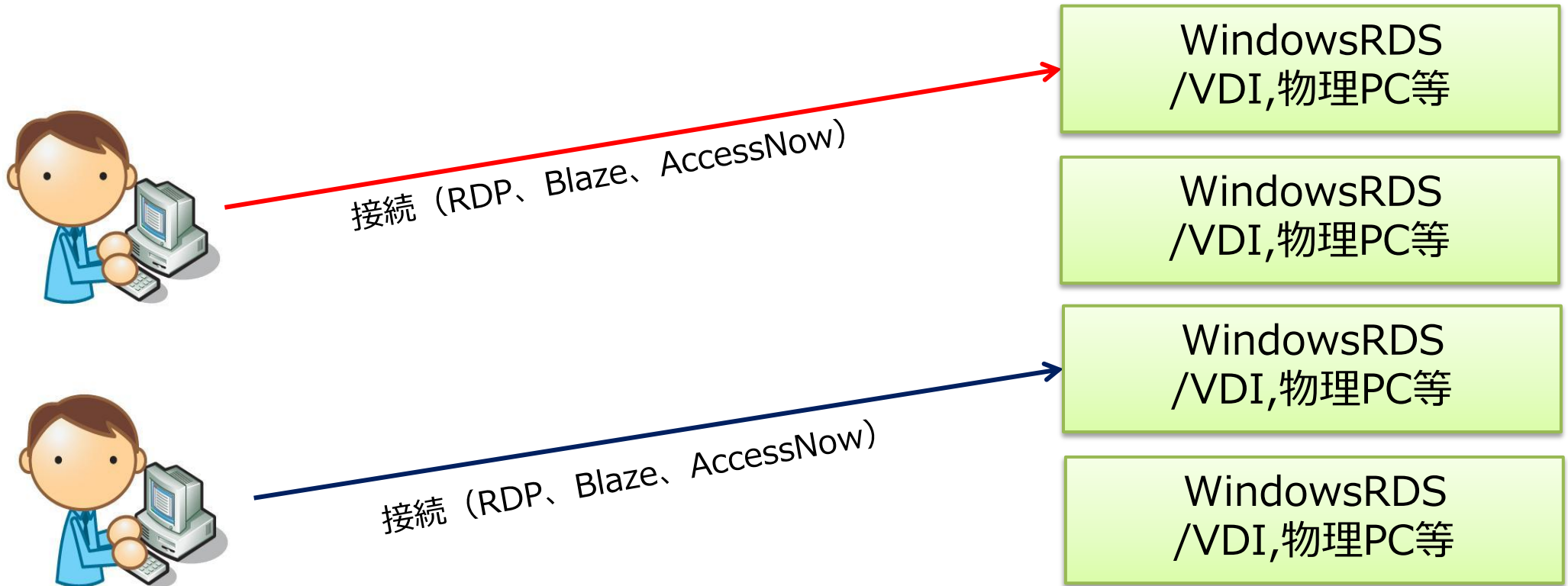
- Ericom Blaze
- Ericom AccessNow
- Ericom AccessToGo



Ericom社製品は、それぞれ単体でも使用でき、
またこれらを「統合リモートアクセスソリューション」として、
コネクションブローカー製品配下で使用することもできます。

【参考】コネクションブローカーの役割とは（1）

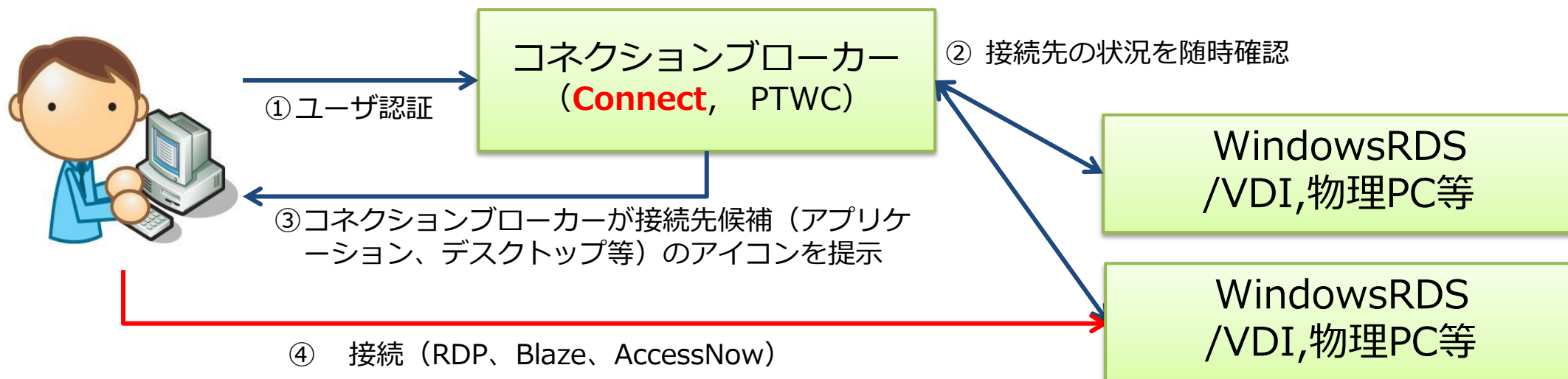
- コネクションブローカーなしの場合
 - ユーザ自身が接続先がどこにあるかを知っている。
 - ユーザ自ら接続先やセッション規則を指定して接続する。



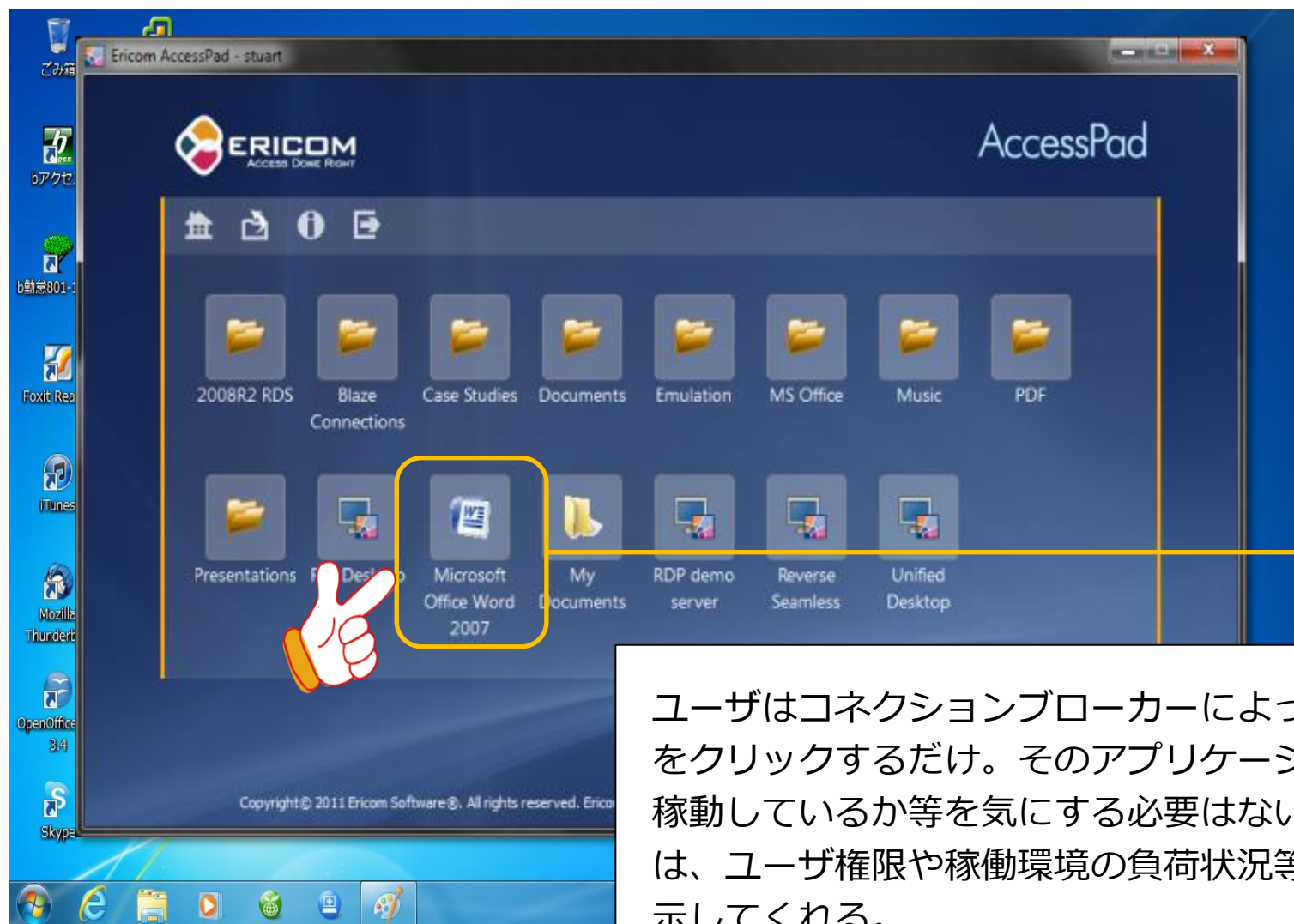
【参考】コネクションブローカーの役割とは（2）

● コネクションブローカーありの場合

- ユーザ自身は接続先がどこにあるかを知る必要がない。
- 管理者が予め定めた規則に沿って、ユーザごとの接続先（デスクトップ、アプリケーション等）やセッション規則（印刷可否、ローカル側記憶媒体の利用可否など）を定義しておく。
- ユーザはコネクションブローカーに問い合わせる（ユーザ認証）ことで、接続先情報を入手する。



【参考】コネクションブローカーがユーザ毎に接続先を提示



ユーザはコネクションブローカーによって提示された接続先のリンクをクリックするだけ。そのアプリケーションやデスクトップがどこで稼動しているか等を気にする必要はない。コネクションブローカーは、ユーザ権限や稼働環境の負荷状況等を見ながら最適な接続先を提示してくれる。

2. Ericom Connectの概要

Ericom Connectとは

次世代のコネクション・ブローカー

- グリッド・テクノロジーによる**驚異的な処理性能**、無限のスケラビリティ
- 複数サーバ間の自動同期処理による高可用性/高信頼性の確保
- **マルチドメイン/マルチテナント**のサポート
- **マルチ・データセンター**のサポート
- 高度なビジネスインテリジェンス

クライアント・レス アクセス (AccessNow)

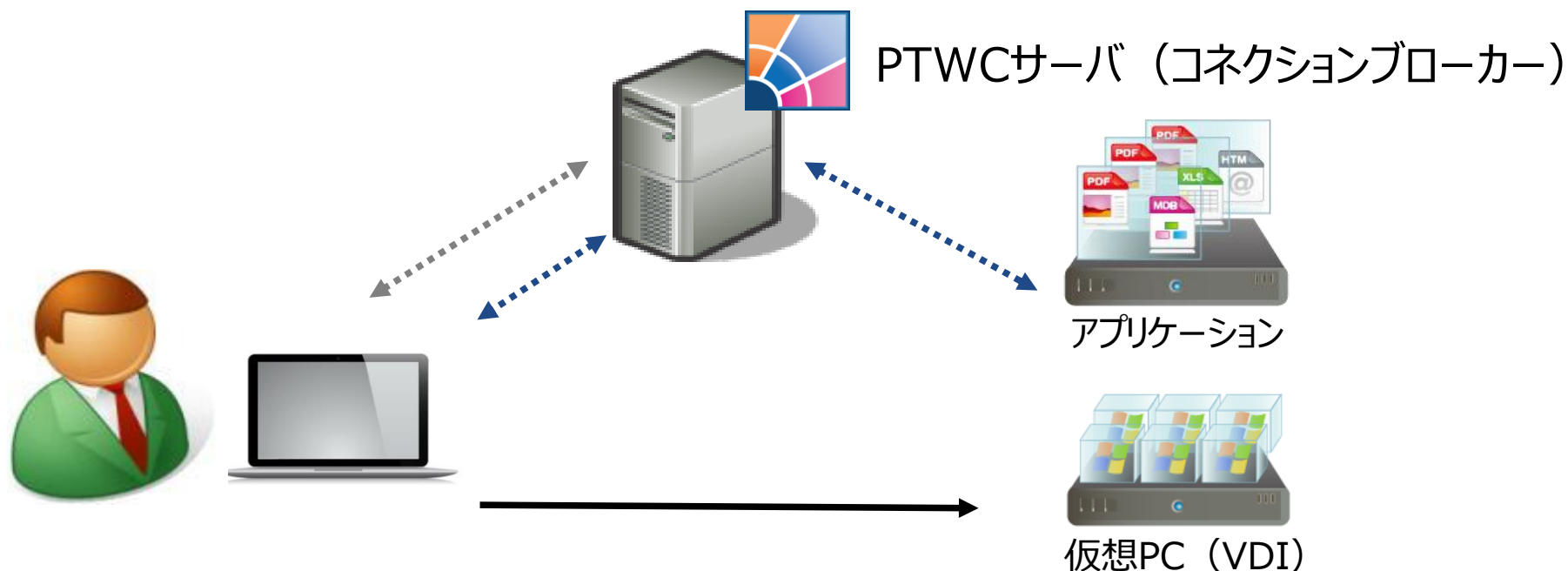
- HTML5技術により**完全なクライアント・レス**でデスクトップやアプリケーションにアクセス可能
- ブラウザ搭載のみが必要条件。あらゆるデバイスが利用可能 (BYODの実現)
- クライアントはメンテナンス・フリー

シンプルな構成で安価

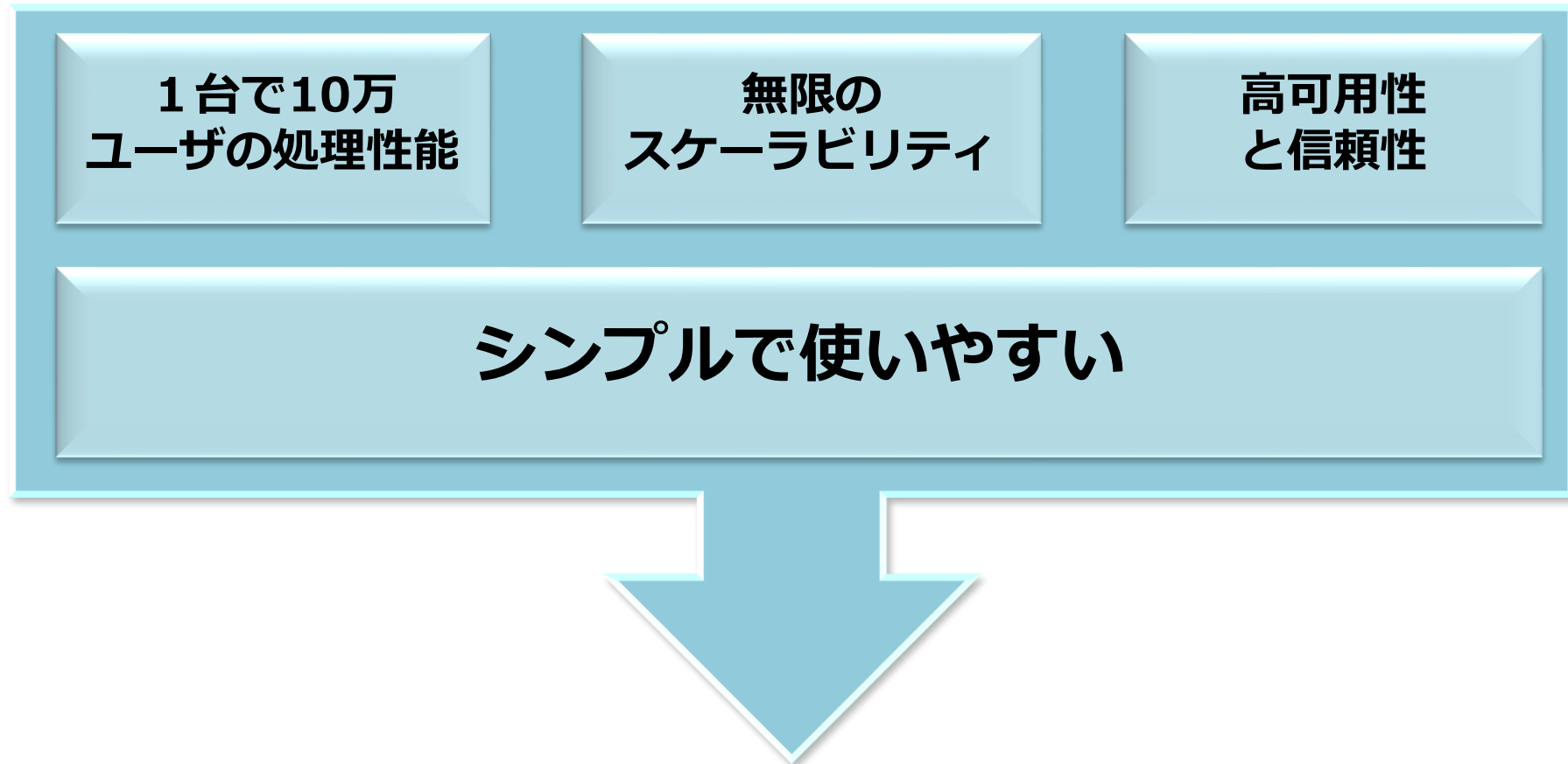
- 短時間で導入可能
- ライセンス・コストは他社製品の**半額以下**
- シンプルなサーバ構成で**H/Wコストも安価に**

【参考】 Ericom PowerTermWebConnect (PTWC) とは

- Ericom社が最初に関発したコネクシオンブローカー製品
 - PTWCが一度に受けられるアクセスは500~1000ユーザ程度であるため、中小規模の環境向け
 - アプリケーション、及びVDIの両方の管理が可能

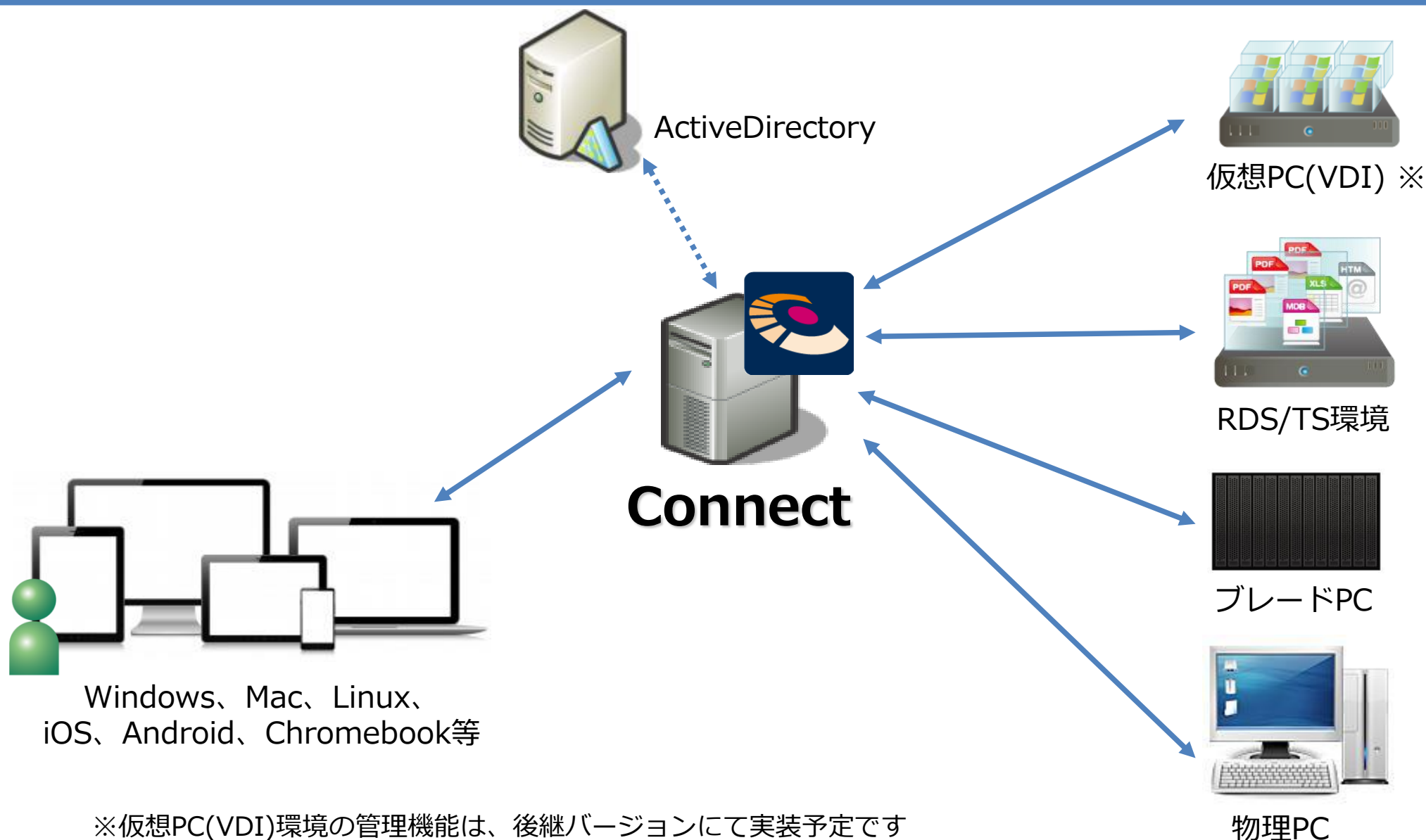


Ericom Connectの製品コンセプト



グリッドテクノロジーの採用で実現可能

Ericom Connect製品全体イメージ

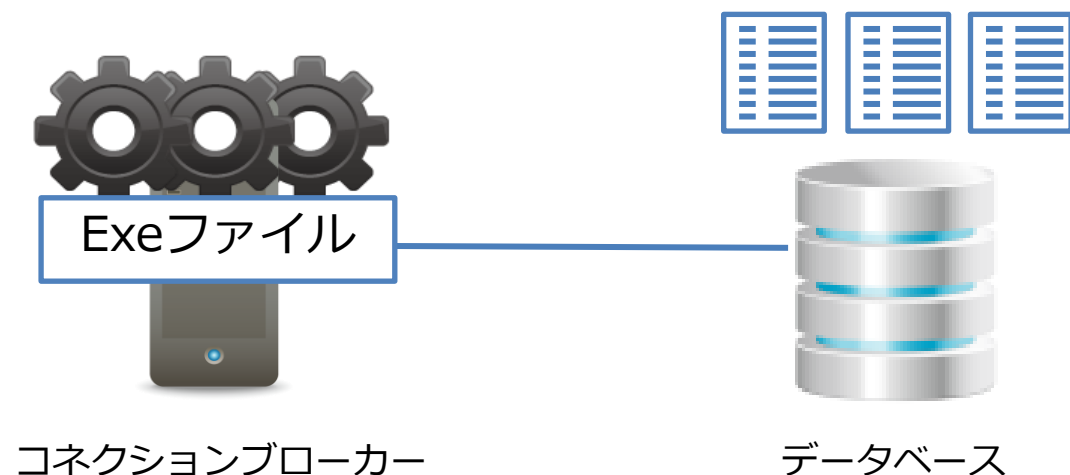


※仮想PC(VDI)環境の管理機能は、後継バージョンにて実装予定です
VDI(Virtual Desktop Infrastructure)、RDS (Remote Desktop Services) /TS(Terminal Services)

3. Ericom Connectの機能

グリッドアーキテクチャによる処理能力と拡張性

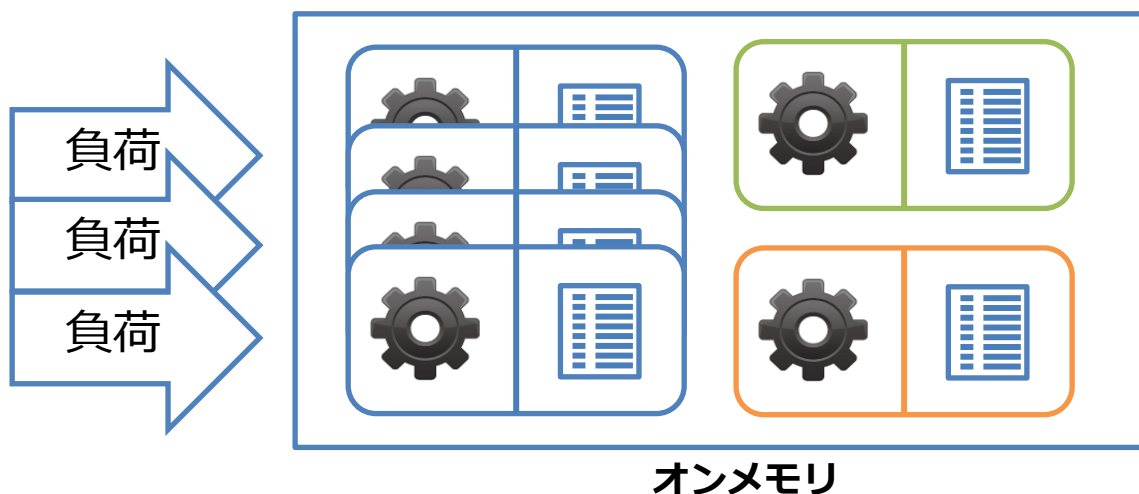
■従来のクライアント仮想化ソリューションの基本アーキテクチャ



ボトルネックポイント

- ビジネスロジックとデータは別サーバに管理
- コネクションブローカー、データベース間のネットワーク
- データベースのディスクI/O
- データベース接続プール
- Exeファイル自体の重さ

■Connectのグリッドアーキテクチャ

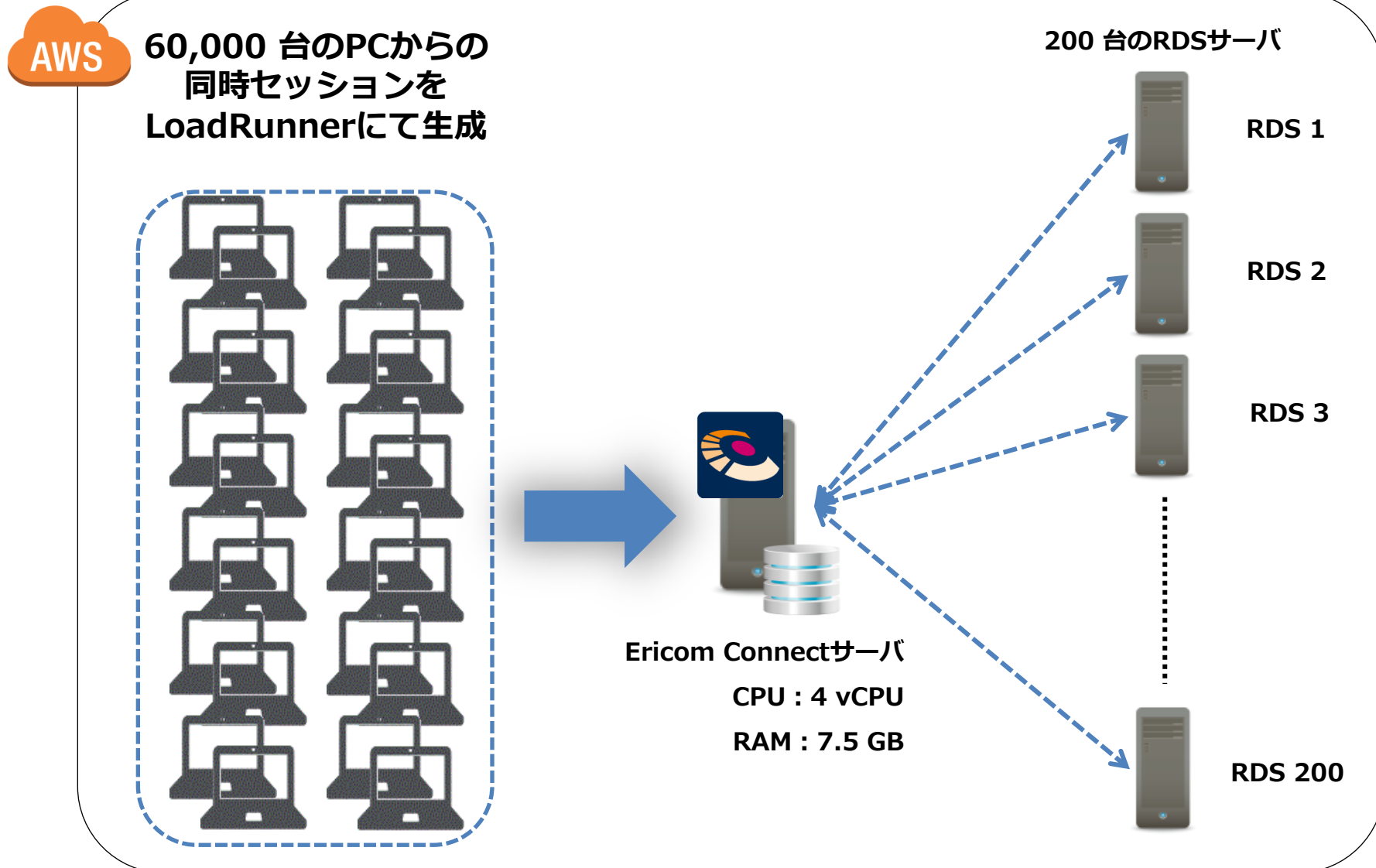


改善ポイント

- ビジネスロジックとデータが1対のユニットになり、全てオンメモリでトランザクション処理することで従来型のボトルネックを全て解消
- ユニットの負荷量に応じて、ユニットの数が増減し、リソースを最適利用

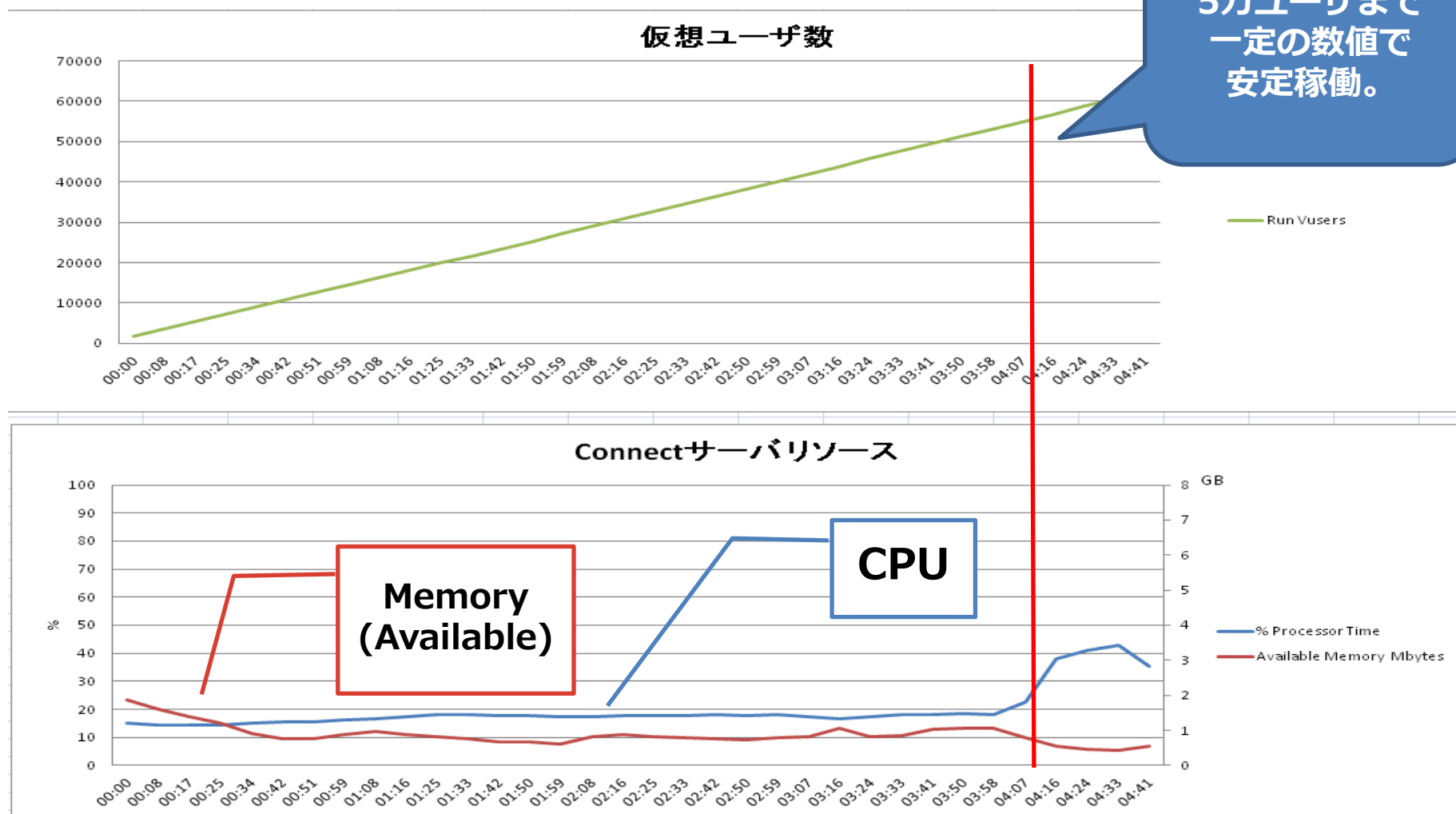
アシストで実証した処理能力検証（HP LoadRunnerを使用）

● 検証環境



アシストで実証した処理能力検証（HP LoadRunnerを使用）

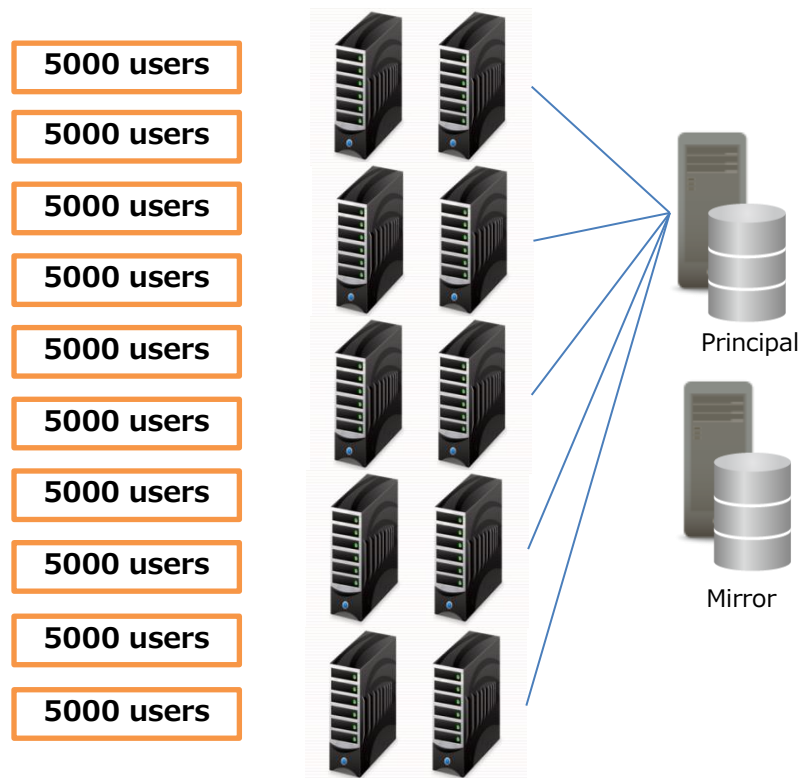
● 処理能力検証結果



システムの拡張性と冗長構成

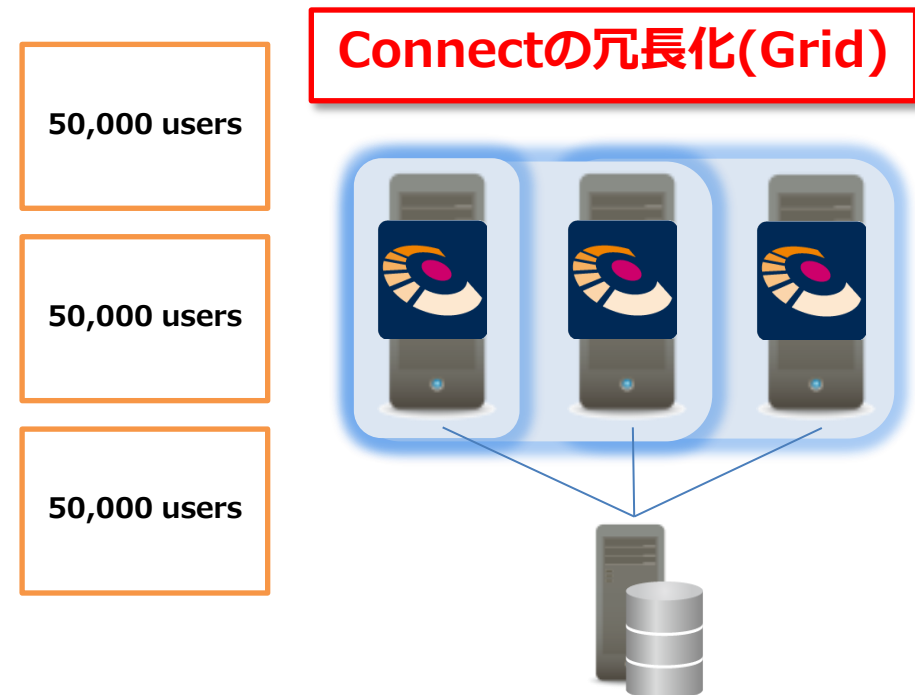
■ 一般的なコネクションブローカーの場合

- 4000~5000ユーザ毎にサーバを 設置
- DBの冗長化は必須
- Web(IIS)の冗長化も考慮必須



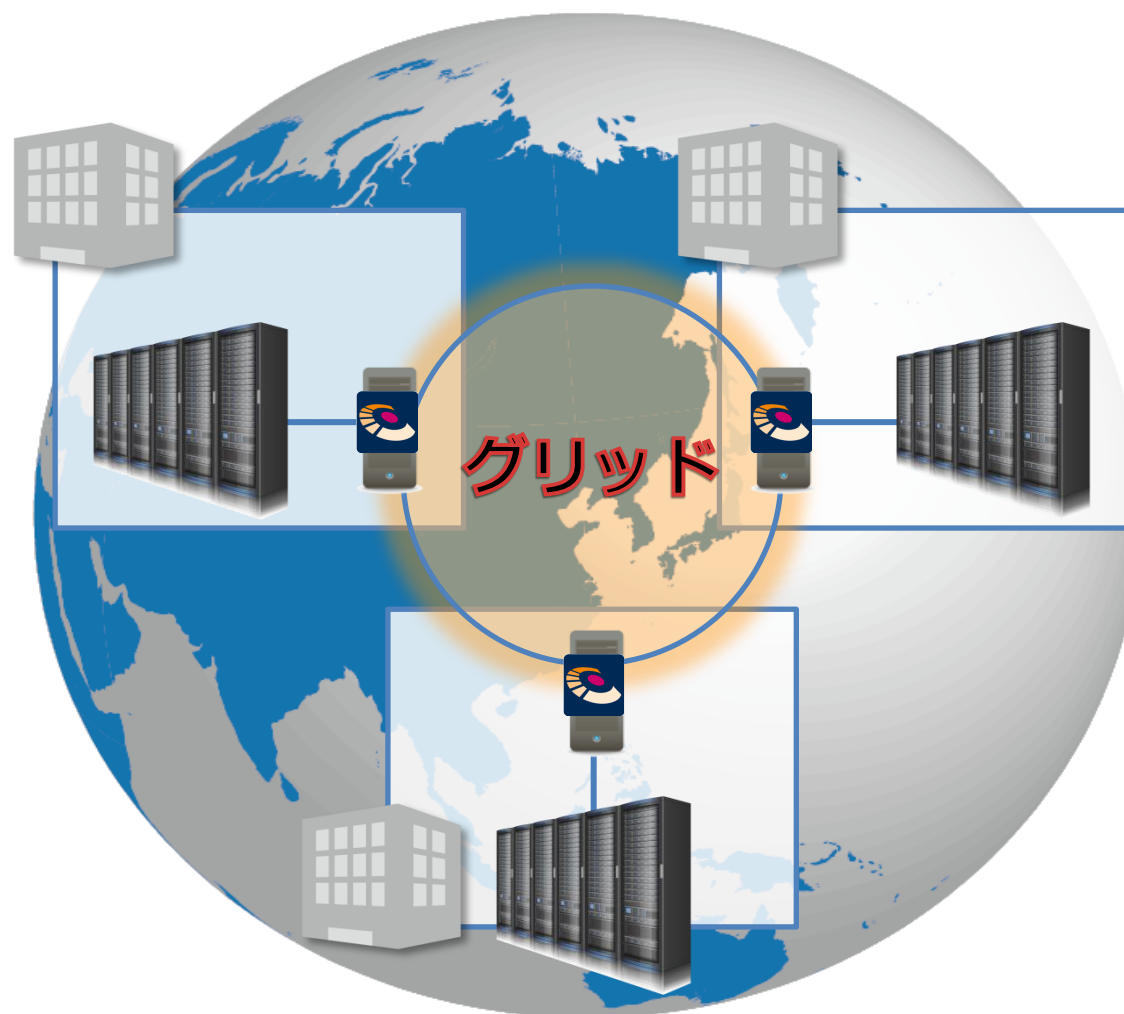
■ Ericom Connectの場合

- 1台のサーバで5万~10万ユーザまで運用可能
- サーバの冗長化は、2台目、3台目の Connect サーバを用意して、既存のグリッドに追加するのみ。
- DBの冗長化は考慮不要（オンメモリーのため）

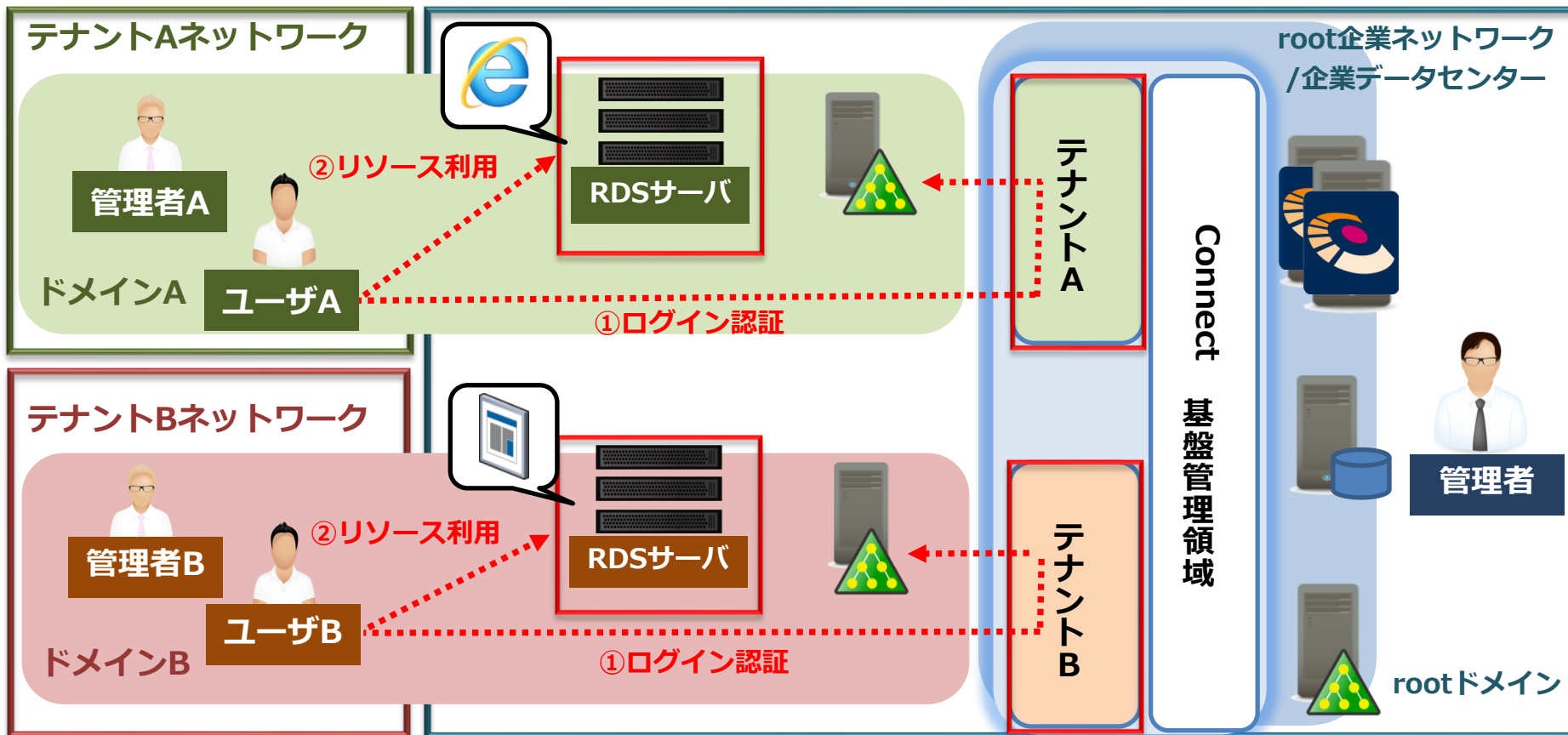


マルチ・データセンター対応

- 複数データセンター(DRサイト)間にまたがる環境を単一のグリッドで統合管理



マルチドメイン／マルチテナント／権限移譲



ここが
スゴイ!

- マルチAD対応（Connect設置ドメインのADとテナント側ADの信頼関係不要）
- サービス事業者、企業グループでの共通インフラとして利用可能
- 各テナントへの管理権限委任

Connect管理コンソール

- Connect環境を一元管理できるWebベースのUI（日本語対応済み）

The screenshot displays the Ericom Connect management console dashboard. The interface is in Japanese and includes a sidebar with navigation options: ダッシュボード (Dashboard), ユーザ (Users), レポート (Reports), 公開 (Public), システム (System), 接続サービス (Connection Services), and 設定 (Settings). The main content area is titled 'ダッシュボード' and contains several panels:

- システムヘルス (System Health):** A table showing system indicators and their status.
- 接続ステータス (Connection Status):** A panel showing server startup information: 'サーバ起動 2015年8月21日 9:15:23'.
- アクティブリソースのステータス (Active Resources Status):** A table showing active connections for different resources.
- リソースサーバのステータス (Resource Server Status):** A table showing CPU, memory, and other metrics for the 'demo-ec' server.
- 最新の起動情報 (Latest Startup Information):** A table showing recent server startups with columns for server name, user name, principal name, application, status, and startup time.

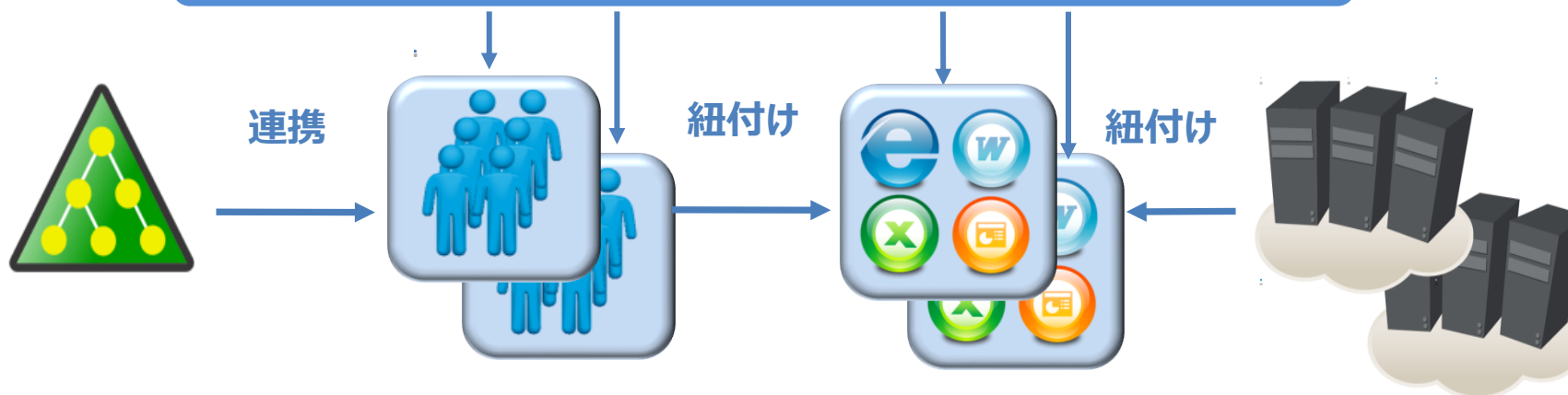
主な機能と
便利な
ツール

【ダッシュボード】 システム、ユーザ、アプリケーション、リソースの状況を把握
【起動分析】 特定ユーザのConnect利用時の動作をシミュレーション
【運用監視とレポート】 ログの蓄積とレポート
【Ericom Analytics】 Connect標準搭載されているBIツール（バージョン7.5.1にて実装済み）

アプリケーション/デスクトップ公開

- 大規模でも効率的なアプリケーション公開

ポリシー設定(ユーザグループ/アプリグループ/個別アプリ単位)



Active Directory

- ✓ Active Directory (AD)上のユーザ単位やユーザグループ単位で登録
- ✓ 信頼関係が結ばれていないADに対応

ユーザ/ユーザグループ

- ✓ 同じアプリケーションを利用するユーザをアプリグループと紐付け
- ✓ ユーザ、ユーザグループ単位で細かなポリシー設定が可能

アプリグループ

- ✓ 個々のアプリケーションをグループ化して管理
- ✓ 個々のアプリやアプリグループ毎に、印刷設定、ファイルダウンロード可否などの細かなポリシー設定を一括設定

リソースグループ

- ✓ 同じアプリケーションをホストするサーバをグループで管理
- ✓ サーバグループ内でロードバランシング

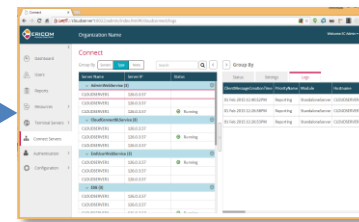
運用監視とレポート

- SQL Serverに一元的に蓄積した情報を分析

Connectのあらゆるログ情報



SQL Server



Connect 管理コンソール



Ericom Analytics (※)



Excel



サードパーティのBIツール

(※) Ericom Connectに標準搭載されているBIツール (バージョン7.5.1にて実装済み)

ログ

● 管理コンソールの標準レポート

ログメッセージ

- すべてのログメッセージ
- エラー
- リソースバインディング失敗
- 起動要求の有効期限
- メッセージタイプ
- ESGセッションログ
- ESG HTTPログ
- 使用可能なマシンのリスト
- 失敗したログイン

アプリケーション

- トップ(初期)アプリケーション
- 1日平均のトップ(初期)アプリケーション
- 1週平均のトップ(初期)アプリケーション
- 1ヶ月平均のトップ(初期)アプリケーション
- 1年平均のトップ(初期)アプリケーション
- 曜日別のトップ(初期)アプリケーション

ユーザ

- エンドユーザ
- エンドユーザセッション
- リモートセッション
- リモートセッション (日別)
- リソースバインディング (リソース割り当て)
- ライセンス使用状況
- 失敗したログイン

サービス

- 時間別サービスステータス
- タイプ別サービスステータス

サーバ

- サーバ毎の起動数
- サーバログメッセージ
- システム管理者用のサーバログメッセージ

メンテナンス

- テーブルサイズ

起動分析

● 接続障害時の解決手順例

PTWCの場合

- ① 管理者は、ユーザに接続ログの取得を依頼する
- ② ユーザはアプリケーション起動ショートカットにログ取得用のパラメータを追記する
- ③ ユーザによる事象の再現
- ④ ユーザPCに出力された接続ログをメールなどにより送付してもらう
- ⑤ 管理者は、取得したログを分析し原因を調査
- ⑥ 調査結果をもとに設定を修正し再度接続テストを行う

Connectの場合

- ① 管理者は、管理コンソールからラウンチシミュレータを起動
- ② コンソールに表示されたシミュレーション結果を分析、原因を調査
- ③ 設定を修正し、再シミュレーション

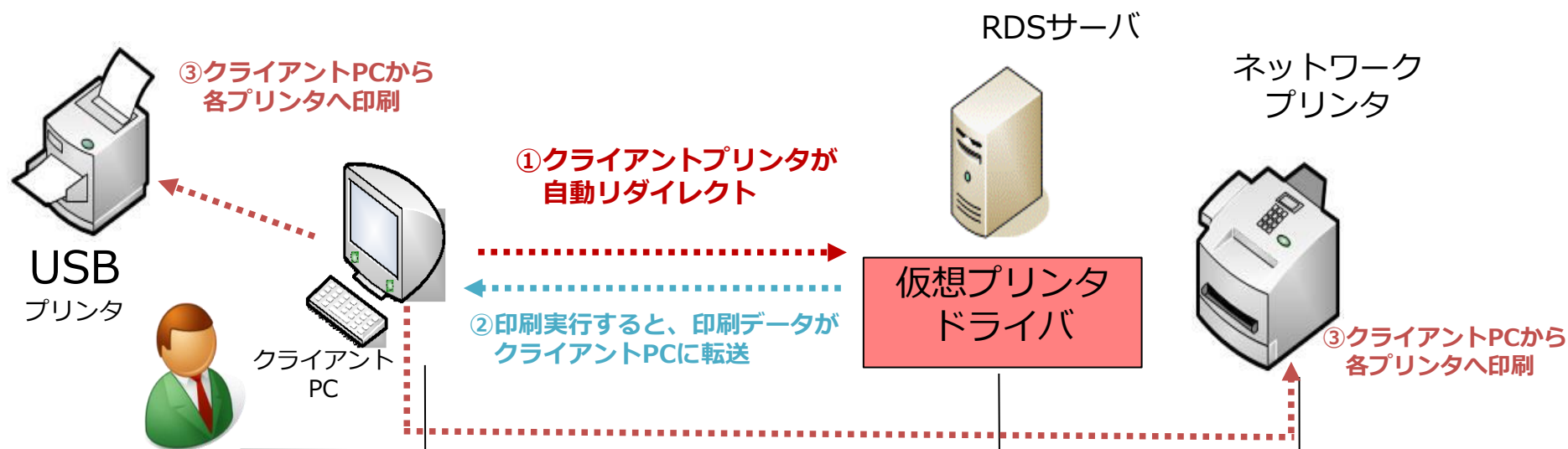


ユーザの起動パラメータ、原因把握、接続テストを全て管理コンソール上で実施。数日かかる作業が数分で完了。

印刷機能（ユニバーサルプリンター機能）

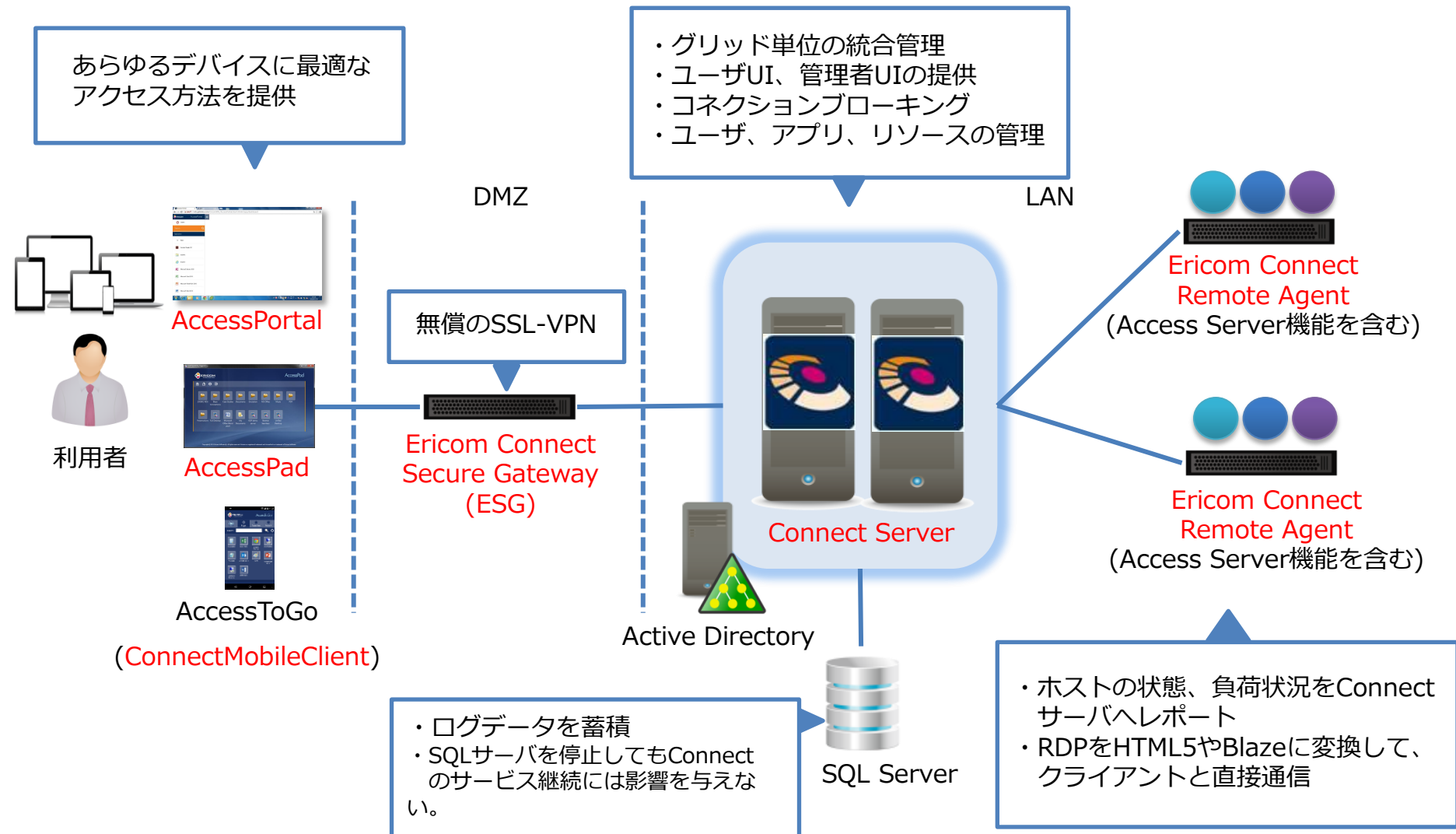
- Ericom Connectで利用可能なユニバーサルプリンター（UPD）の種類
 - Blaze Universal Printer（Blaze接続のリダイレクトプリンタ機能）
 - AccessNow Universal Printer（HTML5、AccessNow接続のプリンター印刷機能）
 - ScrewDrivers（オプション製品、Tricerat社の仮想プリンタリダイレクト製品）
 - Uniprint（※将来バージョンにて搭載予定。現在もオプションとして提供可能。）

<例> Blaze接続時のユニバーサルプリンター印刷実行イメージ



4. Ericom Connectの構成

基本システム構成 (コンポーネント)



EricomConnect構成コンポーネント一覧 (1)

- **Connect Server**

- Connect環境の中核であるコネクションブローカー機能を提供
- エンドユーザ用のアクセスインターフェース、およびWebベースの管理コンソールも併せて提供
- 複数台でGridを形成することでActive-Active構成の冗長化が可能

- **Remote Agent**

- Windows RDSや仮想PC等のリソースに導入
- Connect Serverへ自身の状態（セッション数等）をレポートする

- **Access Server**

- Windows RDSや仮想PC等のリソースに導入
- Blaze通信およびAccessNow通信を実現するためのモジュール

- **SQL Server**

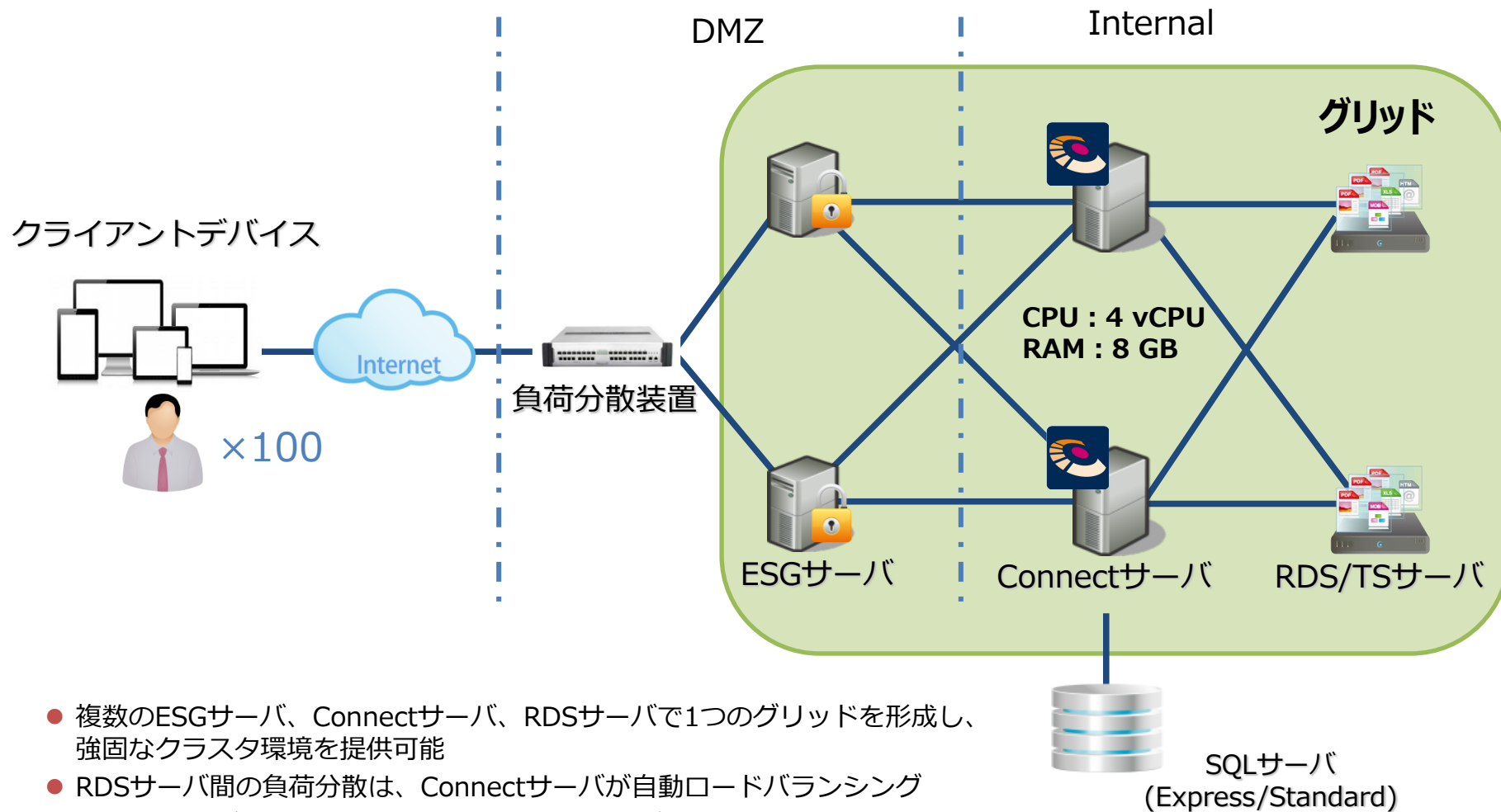
- Connect環境のログや設定情報を格納
- なお、SQL Serverが停止してもエンドユーザへのリソース提供に影響なし

EricomConnect構成コンポーネント一覧 (2)

- **Access Portal (AccessNow通信)**
 - Webベースのエンドユーザーインターフェース
 - クライアント端末のHTML5対応ブラウザさえあれば接続可能なため、専用モジュールを導入する必要なし
- **Access Pad (Blaze通信)**
 - 各端末にインストールしたネイティブモジュールを利用するインターフェース
 - シームレスアプリケーションの提供が可能
- **AccessToGo (またはEricom Connect Mobile Client)**
 - iOSやAndroid端末専用のクライアントモジュール
 - “拡張キーボード”や“リングカーソル”等の利便性の高い機能を提供
 - 通信には「Blaze」を使用し、最適化された接続を実現
- **Ericom Secure Gateway (ESG)**
 - Ericom環境専用の簡易SSL-VPN機能をWindows Serverベースのソフトウェアで提供
 - Ericom製品にバンドルされているため無償で利用可能

システム冗長化構成例（小規模）

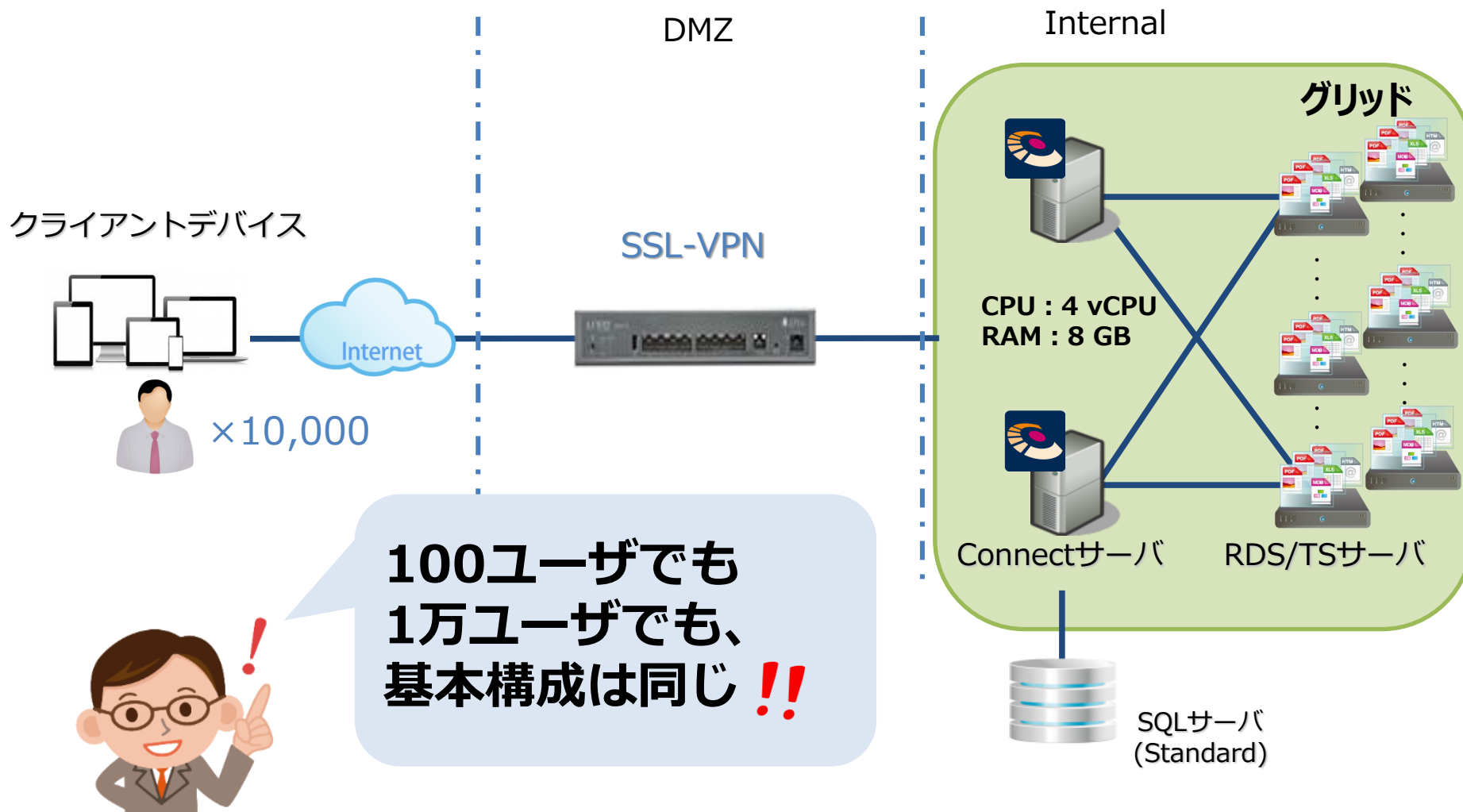
- （例）100ユーザの場合



- 複数のESGサーバ、Connectサーバ、RDSサーバで1つのグリッドを形成し、強固なクラスタ環境を提供可能
- RDSサーバ間の負荷分散は、Connectサーバが自動ロードバランシング
※ESGサーバのフロントには別途負荷分散装置が必要

システム冗長化構成例（大規模）

- （例）10,000ユーザの場合



参考スペック

- Connectサーバ推奨環境
 - OS …… Windows 2012R2 または 2008R2
 - スペック(※1)
 - CPU …… 4 Core以上
 - メモリ …… 8 GB以上
 - HDD …… 80 GB 程度 (SQL Serverを除く)

※1 : SQLサーバをConnectサーバと同居させる場合、CPU:8Core以上、メモリ:16GB以上のスペックが推奨となります。SQL Serverのディスク容量は、リソース数、ユーザ数、トランザクション数によって変動します。

デスクトップ仮想化（VDI）の注意事項

- Ericom ConnectでVDI環境を実装する場合、現在のConnectバージョンでは以下の制限事項がございます。

<VDI構成の制限事項(未実装機能)>

- ✓ ハイパーバイザーの管理機能
- ✓ マスターOSからクローン作成
- ✓ VDIの監視、電源制御機能

※ハイパーバイザーを仲介せず、ユーザとマシンを**1対1に紐付けるVDI方式**か、**RDSサーバの共有デスクトップ方式**をご利用いただくことは可能です。



VDIの管理機能については、vCenterやSCVMMなどのハイパーバイザー側の管理機能をご利用下さい。

将来バージョンでは、オンプレミスだけでなく、近い将来主流と成り得る、**プライベート/エンタープライズクラウド、ハイブリッドクラウド**環境対応のVDI管理機能について実装を検討しております。

利用通信ポート一覧

ポート番号	利用用途	利用元
8011	エンドユーザWebインターフェース (HTTPS)用	Ericom Connect
8022	管理者用Webインターフェース	Ericom Connect
8033	エンドユーザWebインターフェース (HTTP)用	Ericom Connect
443	Ericom Secure Gateway通信用	EricomSecureGateway
8080	Access Server通信用	RDS
4174	RemoteAgent用	RDS
3389	Microsoft RDP 通信用	RDS
389/636	LDAP/S-LDAP用	ActiveDirectory
88	Kerberos	ActiveDirectory
53	DNS	ActiveDirectory
445	SMB over IP	ActiveDirectory
1433	SQL Server通信用	SQL Server
1812	RSA(Symantec)SecureIDまたはRADIUS2要素認証プロトコル用	RSA/RADIUS Server
7000-7100	Ericom グリッド通信用	Ericom Connect
10098-10198	Ericom グリッド通信用	Ericom Connect

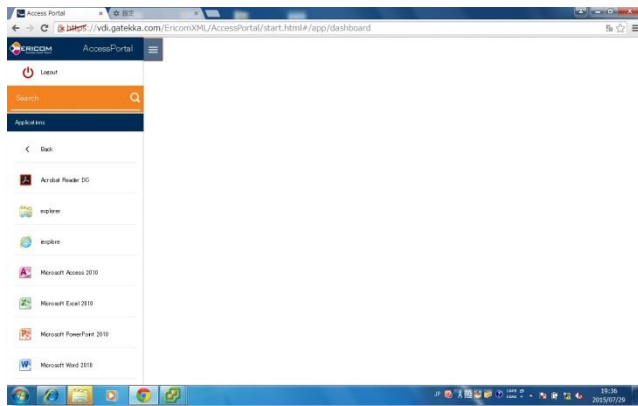
5. Ericomの接続方式

ユーザ接続方法とプロトコル

- 3種類の接続方式から選択可能

【ブラウザ・ベースのアクセス】 AccessPortal

HTML5対応により、完全なクライアントレス、デバイス・フリーを実現



接続
プロトコル



AccessNow

【Windows、Mac】 AccessPad

標準のクライアント・モジュールで、
ローカルデバイスもシームレスな
インターフェース



接続
プロトコル



Blaze

【iOS、Android】 ConnectMobileClient (AccessToGo)

タブレット端末のために洗練され
た使い勝手を提供



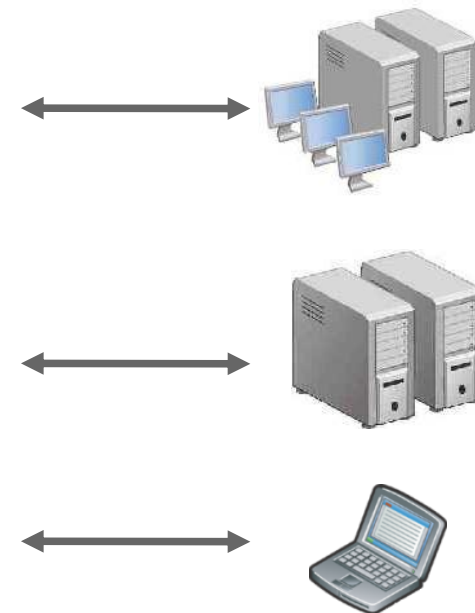
接続
プロトコル



Blaze

AccessNowとは

- AccessNowは、**HTML5対応ブラウザ**から、Windowsデスクトップやアプリケーションへのリモートアクセス機能を提供
- クライアントデバイス側に一切のモジュールやプラグインを導入することなく、**完全なるクライアント・モジュールレス**でWindowsデスクトップやアプリケーションへのリモートアクセスを実現。**デバイスフリー環境**を提供
- Ericom社が他社に先駆けてHTML5 RDPクライアントに取り組み、**世界中でも多数の実績あり**(2011年～β版提供開始)



AccessNowのメリット

WindowsアプリのWeb化



ノンコーディングでWeb化、
マルチデバイス対応、SaaS対応

PC以外の安価なデバイス からWindows利用



Mac、Linux、Android、
iOS、Chrome OS、あらゆる
デバイスから利用可能に

用途特化・限定端末から Windows利用



Chromebook、Surface、共有
端末、キオスク端末、変更禁
止の端末、シンクライアント
でも利用可能に

ワークスタイルの変革



BYOD、モビリティ、
在宅勤務、BCP対策

セキュリティ対策



端末には画面データのみ転送、
セキュアブラウザと同じように
キャッシュも残らない

ユーザの利便性向上



社内ネットワーク、VPNか
らしか使えなかったアプリ
が、インターネット経由で
もSSLで簡単に利用可能に

ITコスト・管理負荷削減



低コストでITの利用環境を一
新し、かつエンドポイントデ
バイスの管理負荷が減少

Blazeとは

- Blazeとは、Connect専用のクライアントモジュール接続方式であるAccessPadクライアントや、iPad/Android用のEricomMobileClinetで利用される通信プロトコル
- RDP通信の圧縮・最適化を行うことで、劣悪環境下（狭帯域やネットワーク遅延が発生する海外からの接続等）におけるリモートアクセスのレスポンスを改善
- PDF、PowerPoint、Flashムービー、CAD等といったリモートアクセスを苦手とするようなアプリケーションの利用においても、帯域使用量を圧縮・削減することで、LAN環境で利用しているかのような操作感を提供



WAN環境でRDPとEricom Blazeを比較したときの画面イメージ

Blazeユーザ事例（一部抜粋）

- ソフトバンクテレコム様
 - 商用化を大前提としたグループ20,000人のワークスタイル変革を、既存の仕組みを変えずにRDP通信を高速化
 - ネットワーク遅延が大きい海外からのリモートアクセスも、国内からのアクセスと違和感ない性能をBlazeで実現

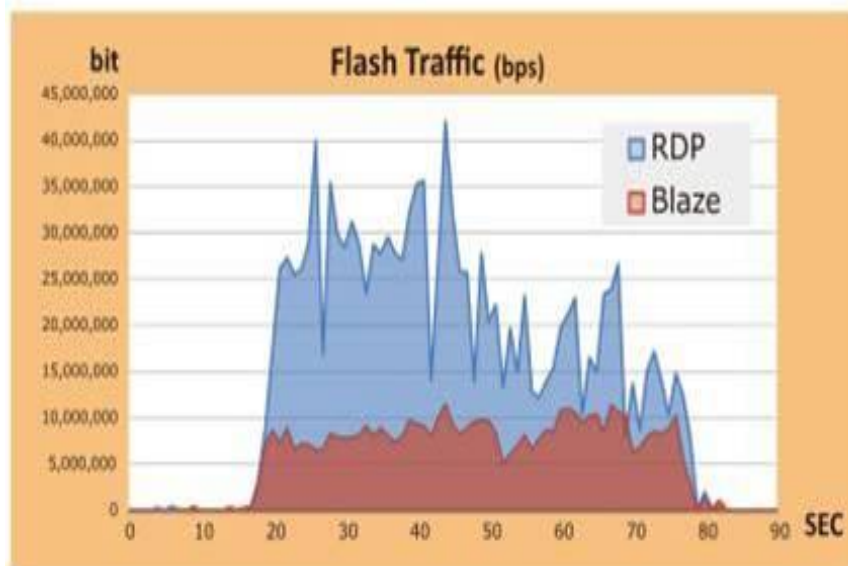


図1：RDP（Remote Desktop Protocol）のアクセラレータ

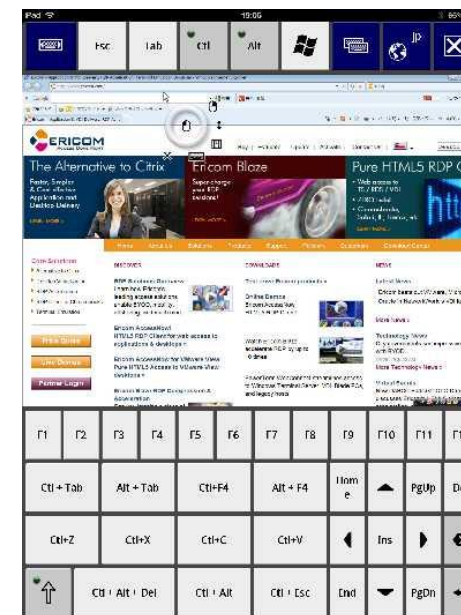
ロケーション	遅延 (mS)	現状 DaaS [※] 使用感	Blaze 使用感
韓国	40	○	○
中国 (大連)	80	△	○
シンガポール	90	△	○
アメリカ (西)	115	×	○

※ RDP 接続

図2：海外とのネットワーク遅延

ConnectMobileClient (AccessToGo) とは

- AccessToGoとは、Ericom社が提供しているiOSやAndroid端末専用のRDPクライアントモジュールの総称
- Connectと接続するための専用モジュールをEricomConnectMobileClientと呼ぶ
- 各端末用のモジュールは、AppStoreもしくはGoogle Playから無料でダウンロード可能（無料版では、フリーのRDPクライアントとしてご利用いただくことも可
- ConnectMobileClientには、Windows特有のファンクションキーやコンビネーションキー、マウス操作のようなカーソル機能が付加されているため、Windowsライクな操作性を実現



6. 必要なMicrosoftライセンス

必要なマイクロソフトライセンス（参考）

Ericom Connectでアプリケーション仮想化を利用するためには、以下のマイクロソフトライセンスが必要になります。

※あくまでご参考情報です。マイクロソフトの各ライセンスの詳細、及び価格につきましては、マイクロソフト社、またはライセンスを購入する代理店各社にお問い合わせください。

- **Windows Server CAL(Client Access License)**

Windows ServerOSに接続するために必要なライセンスです。

ユーザが接続するConnectサーバやRDSサーバはWindowsServerOSなので、このライセンスが必要です。

【必要な数量】

- ・サーバにアクセスするユーザ、またはデバイス数分
- ・サーバインスタンスごとの同時アクセス数（ユーザまたはデバイス数）分

- **Remote Desktop Service CAL(Client Access License)**

RDSサーバに接続するために必要なライセンスです。

【必要な数量】

- ・RDSサーバに接続するユーザ、またはデバイス数分

- **Microsoft SQL Server License**

Connectのログデータを保存するMicrosoft SQL Serverを利用するために必要なライセンスです。

※無償版のSQL Server Expressをご利用いただくことも可能です。

※第三者へのサービス提供を行う場合、別途SPLA等の契約が必要となります。

マイクロソフト社、またはライセンスを購入する代理店各社にお問い合わせください。

7. Ericomの事例／体験デモサイト／関連資料

事例：世界的な製造・物流企業（アメリカ）

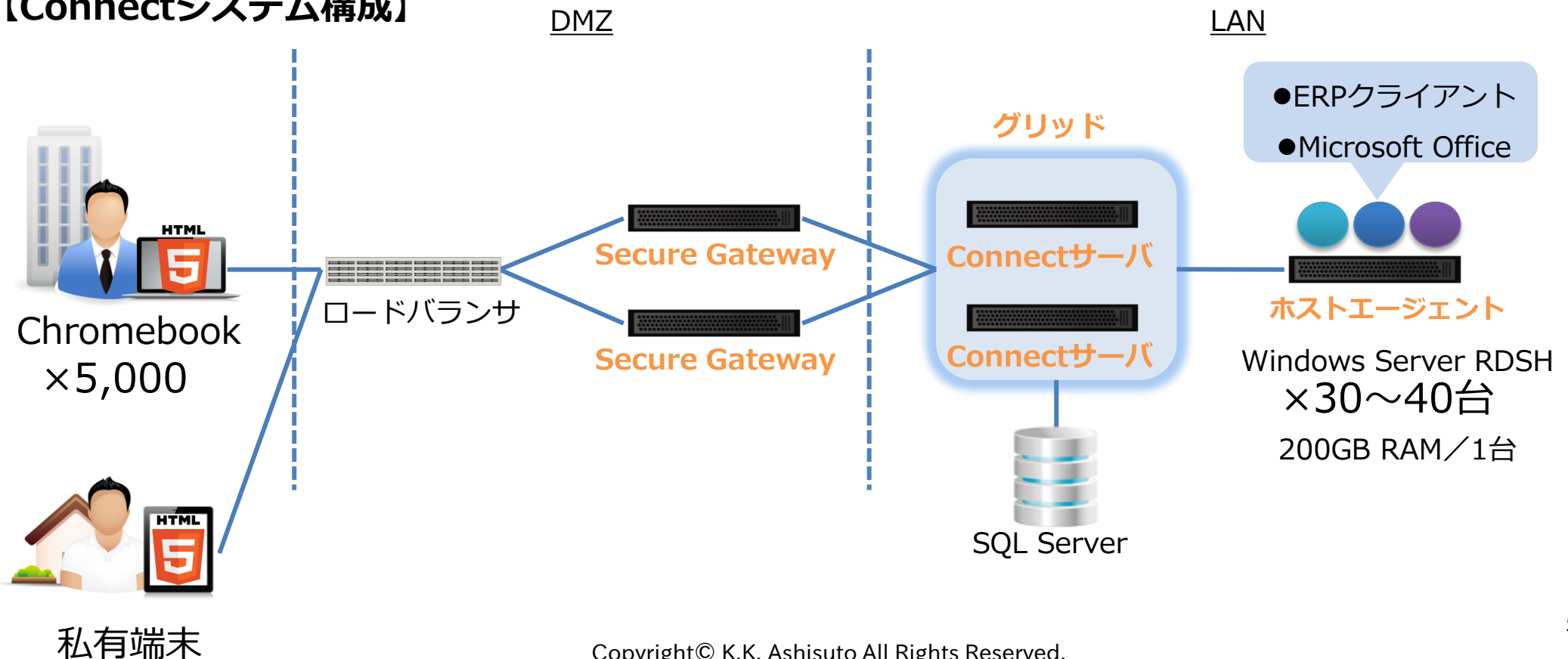
Connect検討のきっかけ

- ✓ MicrosoftのOSコスト削減のため、Chromebookの導入が決定
- ✓ WindowsアプリをChromebookや個人のデバイスで利用可能にするため、HTML5ブラウザからのアクセスソリューションで評価の高いEricomに相談

Connect選定ポイント

- ✓ 導入・管理が簡単／低コスト／あらゆるデバイスから業務が可能になり、利便性が向上する
- ✓ Chromebookからでも問題なくWindowsアプリケーションが利用できる
- ✓ 1年後の25,000ユーザへの拡張にも対応できる

【Connectシステム構成】



事例：世界的な製薬会社（アメリカ）

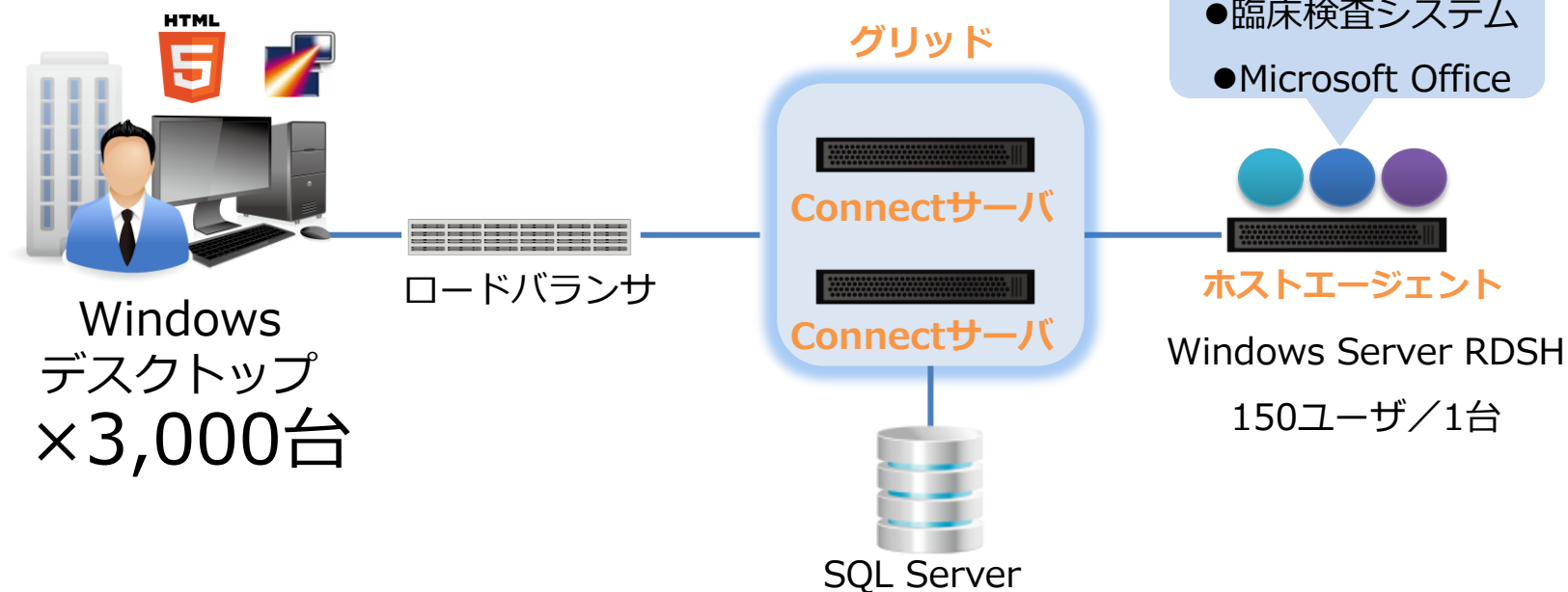
Connect検討のきっかけ

- ✓ 他社ソリューションを利用していたが、製品トラブル時にベンダーから十分なサポート協力が得られず、不満があった
- ✓ システム構成が複雑で、運用負荷が高かった
- ✓ 大規模でもシンプルに管理でき、サポート面で信頼できるベンダー製品への切り替えを検討していた

Connect選定ポイント

- ✓ エンドユーザも、管理者もシンプルに利用できる
- ✓ 評価導入時のEricomの技術サポート対応が丁寧であった
- ✓ 他社製品よりもコスト削減が可能になる
- ✓ 今後予定されている8,000ユーザへの拡張もスムーズに行える

【Connectシステム構成】



事例：世界最大級の私立大学

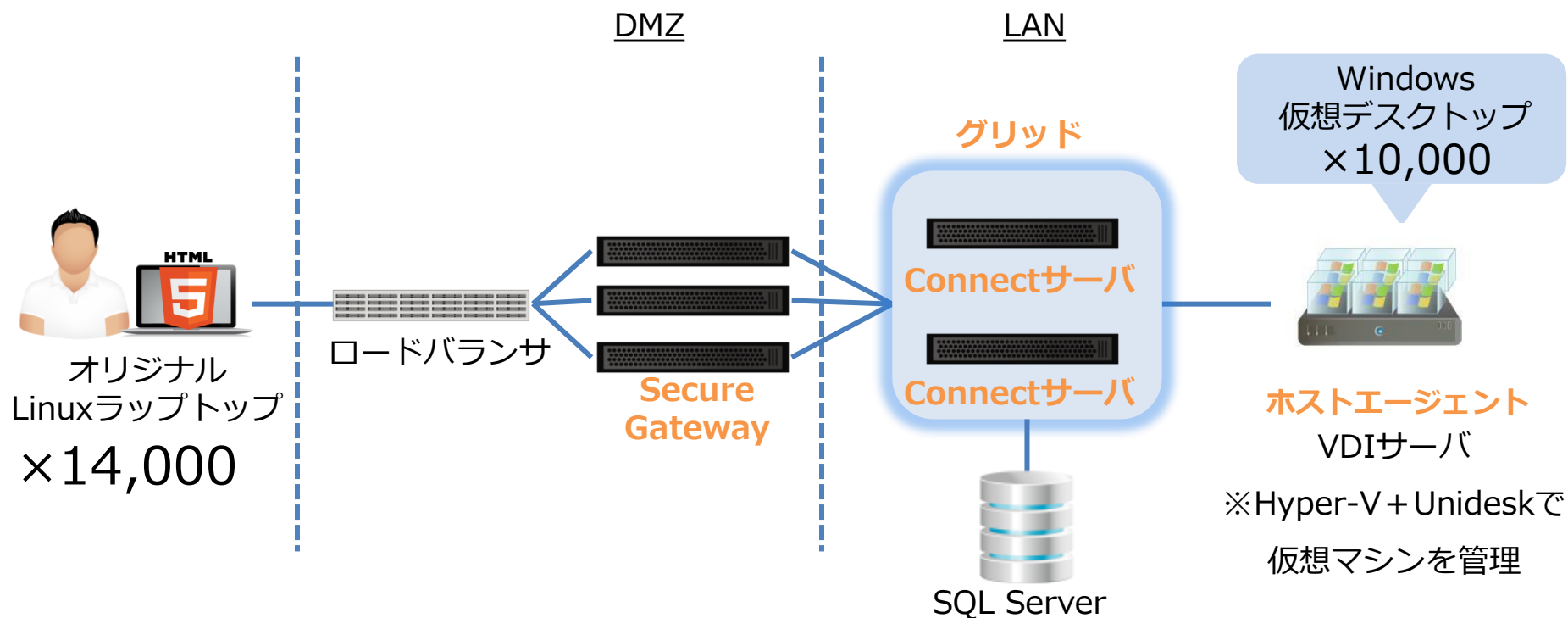
Connect検討のきっかけ

- ✓ オリジナルのLinuxラップトップで利用できるリモートアクセスソリューションが必要だった
- ✓ 校内の請求システムと連携が可能なソリューションを探していた

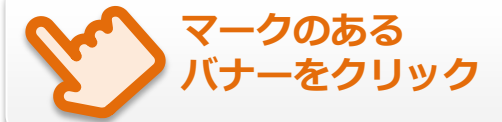
Connect選定ポイント

- ✓ Ericomが請求システムとの連携に必要なカスタマイズに応じた
- ✓ 将来的な10万ユーザへの拡張にも対応可能である

【Connectシステム構成】

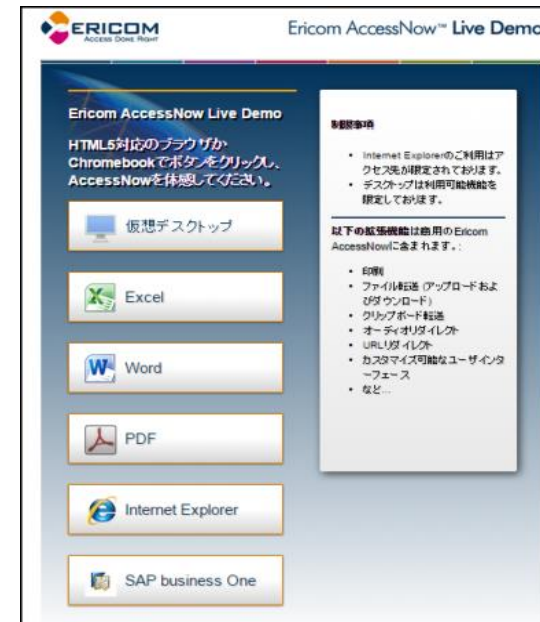


公開デモサイトのご案内



1. Ericom AccessNow Live Demo

AccessNowの操作感を今すぐお試しください。
HTML5対応ブラウザさえあれば、即デモ環境へ
アクセス可能です。

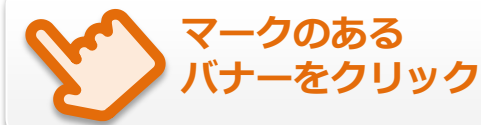


2. ダブルブラウザ・ソリューション Linux仮想ブラウザデモ

いま話題のネットワーク分離環境をEricomで実現した
デモサイトです。



関連コンテンツのご案内



アシストでは、Ericomの導入を検討されているお客様向けに、以下のコンテンツをご用意しています。御社の検討状況に合わせて、ご活用ください。



製品評価版のダウンロードはこちら

Ericom製品の無料評価版をご提供しています。インストール後、「30日間」すべての機能が利用できます。最大同時アクセス数は「50ユーザ」です。



紹介セミナーのお申し込みはこちら

仮想化の基礎知識から、Ericom製品の特長やメリットについてデモンストレーションを交えながらご紹介します。

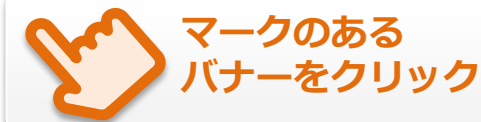
このほかにも、Ericom関連資料を無料でプレゼントしています。製品の価格／システム構成資料や、Ericomを使った標的型攻撃対策ソリューションの紹介資料など多数をご用意しています。貴社の検討状況に応じて、お気軽にお申し込みください。

Ericom 関連資料を無料でプレゼント中！

- これ一つで概要がわかる！ Ericom 紹介資料
- 3つのモデルケースから学ぶ！ Ericom 価格／システム構成資料
- Ericom を使った標的型攻撃対策『ダブルブラウザ・ソリューション』紹介資料
- エバンジェリスト執筆『クライアント仮想化とワークスタイル変革との関係性』



お問い合わせについて



本資料に関するお問い合わせや、Ericom製品に関するご質問、導入のご相談、製品デモンストレーションやお見積りの依頼など、下記よりお気軽にご連絡ください。

お客様のご要望に応じて、専任のスタッフが対応させていただきます。

株式会社アシスト 仮想化事業推進室

E-Mail : sk_info@ashisuto.co.jp



Webでのお問い合わせ



➤ 専用のお問い合わせフォームよりご連絡ください。

